

無料朝食で新入学生の朝を支援

「阪大×ケロッグ “栄養バランス満点” 無料朝食セット」 4/9(木)から提供開始
4/8 (水) 15:00 から 豊中キャンパス内の学食で記念セレモニー&メニューお披露目

大阪大学では、新入学生のキャンパスライフの始まりに合わせ、豊中キャンパス内の学食「図書館下食堂」において、**大阪大学未来基金、日本ケロッグ合同会社（以下、ケロッグ社）、大阪大学生協同組合（以下、阪大生協）の産学連携による「阪大×ケロッグ “栄養バランス満点” 無料朝食セット」**を4月9日（木）から提供します。

このプロジェクトは、新年度の講義開始日にあわせ、「新入学生に朝食を取る習慣を身に付けて、健康で規則正しい学生生活を送ってもらいたい」という目的で、大阪大学未来基金の学生支援事業の一環として、ケロッグ社の全面的な協力により実施します。無料朝食セットの提供は、学食を運営する阪大生協が担当します。

昨今、“100円朝食”を提供する大学が出始めていますが、近畿圏の国公立大学の学食で“無料朝食”を提供する取り組みは、大阪大学が初めてです。

当メニューの提供開始前日に、提供開始記念セレモニーを行ないます。また、提供初日をメディアの皆様にも公開いたしますので、合わせてご取材をご検討いただきたく、ご案内いたします。

「阪大×ケロッグ “栄養バランス満点” 無料朝食セット」概要

- [提供期間] 4月9日（木）～4月30日（木）＜平日限定で実施＞
- [提供時間] 8:00-10:00am
- [提供場所] 大阪大学 豊中キャンパス内 図書館下食堂（豊中市待兼山町 1-4）
- [提供メニュー] ケロッグ社のシリアル、牛乳もしくはヨーグルト、卵、フルーツ等のセット
 - * メニューの詳細は次ページに記載
 - * 1日200食限定で提供
 - * **メニュー実費は全額、大阪大学未来基金が支援いたします。**

記念セレモニー概要

- [日時] 4月8日（水） 15:00～15:45（受付開始は14:45を予定）
- [会場] 大阪大学 豊中キャンパス内 図書館下食堂
- [登壇者] 大阪大学 理事・副学長 大竹文雄
大阪大学生協同組合 理事長 江口太郎
日本ケロッグ合同会社 代表職務執行者社長 井上ゆかり
- [内容] 登壇者3名による、シリアルファーストドロップ（シリアルサーバーにシリアルを注ぎ込む所作）
「阪大×ケロッグ “栄養バランス満点” 無料朝食セット」提供メニューお披露目
新入学生のキャンパスライフ・サポートを行う阪大生協学生委員会メンバーによる試食



■大阪大学 豊中キャンパスと 図書館下食堂について

大阪大学では全学部の新入学生（約3,400名）が豊中キャンパスでキャンパスライフを過ごします。豊中キャンパスには食堂、カフェをあわせ7つの阪大生協 飲食提供施設がありますが、朝から営業しているのは図書館下食堂のみです。図書館下食堂には全360席ありますが360席が1日約10回転するほどの利用実績を誇ります。うち、従来の朝食時間帯の利用者数は約100人程度です。

【本件に関するお問い合わせ】

大阪大学 広報 担当：松本 TEL06-6879-7150 matsumoto-n@office.osaka-u.ac.jp

日本ケロッグ 広報代理 <ブルーカレント・ジャパン(株)> 担当：渡部（わたなべ）、芳賀（はが）

TEL: 03-6204-4141 E-mail: Kellogg-info@bluecurrentgroup.com

「阪大×ケロッグ “栄養バランス満点” 無料朝食セット」詳細

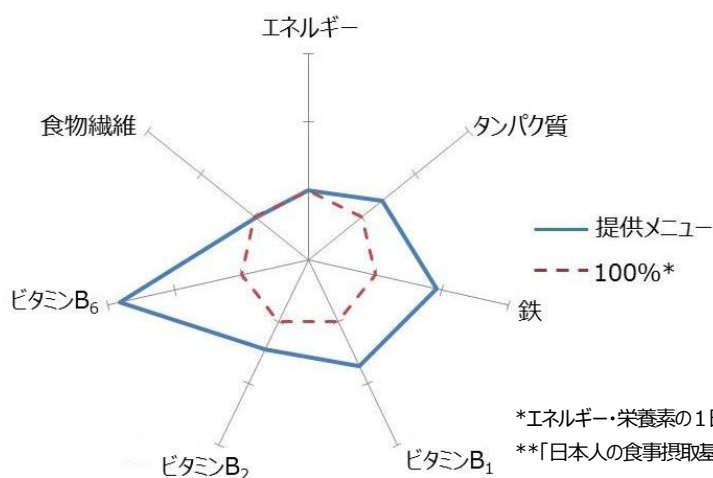
【セット内容】 *以下①～⑤をセットでご提供します。

- ① ケロッグのシリアル
下記3種類のケロッグのシリアルから
好きなものをお選びいただけます。
 - 「厳選素材 フルーツグラノラ」
 - 「オールブラン プランフレーク フルーツミックス」
 - 「コーンフロスティ」
- ② 牛乳もしくはヨーグルト (選択可能)
- ③ ゆで卵
- ④ バナナ
- ⑤ オレンジ、トマト、キウイのいずれか (選択可能)



※写真はイメージです。学食で実際に使用する食器とは一部異なります。

＜当メニューの栄養バランス＞ ①厳選素材 フルーツグラノラ ②牛乳 ③ゆで卵 ④バナナ ⑤キウイ を選んだ場合の例



このメニューで、朝食として必要なエネルギーやタンパク質に加え、エネルギーの代謝に必須のビタミンB₁やB₂、タンパク質の代謝に必須のビタミンB₆、また、不足しがちな鉄分や食物繊維も摂ることができます。

*エネルギー・栄養素の1日推奨量等**の25%を朝食の基準の目安(100%)とし、点線で表しています。

**「日本人の食事摂取基準 2015年版」(18-29歳 男女推奨量等)より

●大阪大学未来基金について

大阪大学は、創立100周年を迎える2031年に世界トップ10の研究型総合大学になることを目指しており、そのための持続的財政基盤として、2009年(平成21年)5月に「大阪大学未来基金」を設置しました。創立100周年となる2031年には、未来基金100億円を目指しています。基金の主な事業としては、学生支援のほか、研究者支援、国際交流、社会貢献がござります。

参考：<https://www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/>

●ケロッグについて

ケロッグ社(Kellogg Company)は、取り扱う食品とブランドを通して、世界に豊かさ楽しさをもたらすことを使命としています。1894年にケロッグ社の創設者であるW.K.ケロッグが米国ミシガン州バトルクリークにおいて、保養所の人々のために食物繊維が豊富な穀物や大豆を材料に、食べやすく栄養が豊富な食品としてシリアルの原形となる「グラノーズ」を発明してから1世紀以上を経た現在では、180カ国以上で事業を展開する世界的な食品メーカーとなっています。2014年の売上高は146億ドルで、シリアルのメーカーとしては世界第1位、クッキー、クラッカー、スナックのメーカーとしては世界第2位の規模を誇ります。また、ケロッグ社は、朝食を中心とした飢餓解消に向けてのグローバルな取り組みを強化するため、2013年3月より、「Breakfast for Better Days™」というプログラムを開始しました。当プログラムを通じて、2016年末までに、世界中で食料を必要としている子どもたちやそのご家族に10億食*のシリアルとスナック(その半数以上は朝食向けの食品)をお届けすることを目標としています。活動初年度の2013年度は、各国合計で4億食以上の自社製品を寄贈し、このうち2億3,000万食は朝食向けの食品でした。 <*10億食という目標値は、1食あたり1オンス(約28.4g)を基準としています。>

＜日本ケロッグと製品ラインナップ＞

日本ケロッグは、100年以上にわたって「朝食を通じた心とからだの健康」を研究し続けてきた朝食の専門家「ケロッグ」の基本精神を受け継ぎ、1962年に米国ケロッグ社100%出資の日本法人として設立されました。以来半世紀以上にわたって、太陽と大地の恵みを受けて育った、玄米、小麦、大麦、とうもろこしなどの穀物のエネルギーと、バランスのよい栄養がたっぷり詰まったシリアルを日本の朝の食卓にお届けすることを通じて、お客様の気持ち良い一日のスタートを応援しています。「太陽の恵みで、いい一日をスタート。」というキーワードのもと、新製品や店頭キャンペーンを展開しています。提供しているブランドは、大人向けには「オールブラン」「玄米フレーク」「フルーツグラノラ」、子ども向けには「コーンフロスティ」「ココくん」など、大人から子どもまで、あらゆるターゲットのニーズに応えられる製品ラインナップを誇ります。

＜「阪大×ケロッグ “栄養バランス満点” 無料朝食セット」におけるケロッグ社の協力について＞

日本ケロッグとして、シリアルの無償提供および栄養バランス満点メニューの提案など、大阪大学未来基金へ全面的な協力を行っています。